

令和 7 年度 地域の「話し愛・支え愛」推進事業実施状況報告

修立地区・美保南地区

【修立地区】

《つどい場》

- ・世代や属性を超え交流できる場や居場所の整備
- ・心配ごと、困りごとを話せる場づくり

◇e スポーツ体験

e-s クラブの開催 期日:毎月第 2 火曜日 13:30～15:00

《ささえ場》

- ・つどいから出る地域課題を話し合う場
- ・交流、参加、学びの機会を生み出すために個別の活動や人をコーディネートする場

◇修立地区町内会・各種団体役員等合同研修会の内容を企画

まちづくり協議会、公民館、市社協、理学療法士の4者で「防災×フレイル予防」の取り組みを「自助・共助」を一体的に実施するための会議を開催。

結果、支え愛マップの取り組みを取り入れ「防災×フレイル予防×まちづくり」研修会の企画を行った。また、研修会当日には、新たに鳥取東地域包括支援センターにも協力参加のお願いした。企画の内容は、まなび場で実施。

《まなび場》

- ・子どもから大人まで福祉について学ぶ場所

◎防災×フレイル×まちづくり

※まちづくり協議会が住民アンケートの実施により、防災への関心と高齢者・障がいのある方への支援の充実に向け、防災・フレイル予防・まちづくりを一体的に進める取り組みを行った。

◇修立地区町内会・各種団体役員等合同研修会の開催

期日:令和 7 年 7 月 12 日(土) 参加者:79 名

内容:①防災×まちづくり『災害を他人ごとでなく「自分ごと」として考える』

- ・令和 5 年佐治町で台風 7 号の災害対応の経験をふまえて講演

②防災×フレイル予防『フレイルシニア体験』

- ・参加者に高齢者体験セットを装着していただき避難、避難支援体験

③防災×フレイル予防『いざという時に動けるからだづくり』

- ・理学療法士による実演をまじえた講演

◇修立地区文化祭「放哉・防災・来てみんなさい」の開催

期日:令和 7 年 10 月 26 日(日)

内容:①災害体験 VR、非常持ち出し袋作成体験

②いざとなった時に動ける身体づくり

◇災害に強い体づくり講習会の開催

期日:令和7年11月18日(火)

内容:①防災×フレイル予防

・理学療法士による実演をまじえた講習

◇支え愛マップ作成(令和8年3月2日現在)

・新規作成:6町内会 更新:1町内会

◇「いつも」と「もしも」のハンドブック作成

・地区で取り組んできた「防災×フレイル予防×まちづくり」の視点を盛り込み、自分と大切な方の命を守るためにも「もしも(災害時)」に対し「いつも(平常時)」をどうするかを住民に分かりやすく伝えるためハンドブックを作成

《今後の取り組み》

・修立地区は、「人口減から人交(コミュニケーション)増へ」を基に災害に強い体づくり、町内の防災意識とコミュニケーション、防災とフレイル予防意識の向上への取り組みを進めてきた。「防災×フレイル×まちづくり」研修を通して防災体制の整備に向け、要配慮者も参加した支え愛マップづくりを行った。また住民に向けて作成した「いつも」と「もしも」のハンドブックを防災啓発に活用していくこととした。今後、引き続き各団体と地区住民とが地域課題の改善につなげるため一層の共助の強化に取り組んでいく。

【美保南地区】

《つどい場》

◇みんなの食堂の開催

期日:偶数月 第2土曜日 11:00~12:30 定員:100名

・令和6年2月に発足したみんなの食堂は、児童や子育て世帯の方々の参加が多く、高齢者の参加が少なかったが多世代に利用してもらえるようチラシ作成とのぼり、看板設置により利用者増となった。

《ささえ場》

◇地域の困りごと等に関するアンケートの実施

・まちづくり協議会が策定したまちづくり計画の見直しを目的に住民アンケートを実施したが、項目が多く見直しが必要なものの絞り込みが難しかったため、項目を限定して作成。

時期:令和7年6月19日~令和7年7月25日

回答:602世帯/1,890世帯(回収率32%)

・アンケート結果から「困っていること」「不安に思っていること」に上げられたのが

健康に関することが多く次いで介護に関すること、また人との関わり方に悩む声も寄せられた。

- ・まちづくり協議会において、主に健康・福祉に関わる地域団体、機関において検討し今後の取り組みで実現可能なものを事業化することとした。

《まなび場》

◇美保南地区自主防災会連絡協議会合同研修会の開催

期日:令和7年11月16日(日) 参加者:27名

内容:①支え愛マップ作成体験

- ・架空の住民を設定し支え愛マップの作成を体験した。

◇鳥取大学地域調査プロジェクトとの連携

名称:鳥取大学地域学部地域創造コース地域プロジェクト Fグループ(12名)

内容:災害時避難行動要支援者の避難支援に関わる調査と課題の把握

時期:令和7年7月～令和8年3月

- ・鳥取大学の学生が地域団体や住民へのヒアリングとアンケート調査を実施した。避難行動要支援者の現状と課題に対し、考察と提案をまとめ報告会を行った。

《今後の取り組み》

- ・美保南地区は、地区住民のだれもが安心していきいきと暮らせる「安心・安全で住みよい・魅力ある美保南」を目指し、地域のつながりと支え合いをテーマに様々な取り組みを進めてきた。「みんなの食堂」では子どもと保護者の利用者のみならず高齢者や女性の参加も増えた。引き続き広報活動に努め地域の居場所づくりを進めたい。また住民アンケートから健康不安、介護や老後の心配等の「健康・福祉」への関心度が高く、次に災害時の避難、交通安全等の「安心・安全」に関する結果となった。今後、各団体と関係機関が連携し地区住民が必要とする実現可能なものについて事業化するよう取り組んでいく。